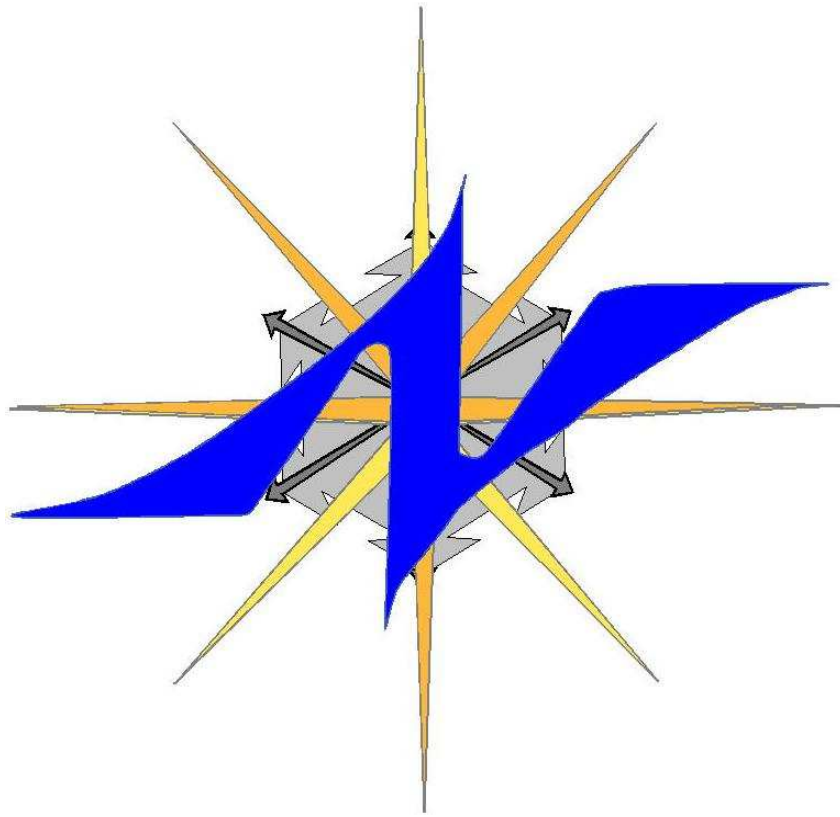


令和4年版

消防年報



日光市消防本部

令和5年刊行

は し が き

平成18年3月20日、2市2町1村（今市市、日光市、藤原町、足尾町、栗山村）の合併により、今市市消防本部、日光地区消防組合消防本部、藤原町消防本部も合併、日光市消防本部（1本部、3署、5分署、1分遣所）が設置されました。

この消防年報は、令和4年中における日光市消防の現況と主要な消防業務の実績、資料等を収録したもので、今後の消防行政の資料とするとともに、日光市消防の概要を紹介することを目的として編さんいたしました。

日光市消防本部

消 防 の 目 的 任 務

○消防組織法

第1条 消防は、その施設及び人員を活用して、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことを任務とする。

○消防法

第1条 この法律は、火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資することを目的とする。

目 次

市章及び地理的条件	1
消防本部・署・分署庁舎状況	2
管内消防機関位置図	5
事務分掌	6
日光市消防本部のあゆみ	11

総 務 編

日光市の予算と消防予算	18
相互応援協定締結機関	19
日光市消防本部組織図	20
職員配置状況	21
職員勤続年数表	22
職員階級別年齢表	22
職員特殊技能・資格取得状況	23

予 防 編

防火対象物の現況	24
中高層建築物の現況	25
各種申請・届出書の受理状況	26
建築許可等の同意・許可件数	27
危険物関係事務処理状況	28
危険物製造所等現況	29
防火団体の現況	30
自主防災組織の現況	31
重要文化財の現況	33
火災発生状況	34
時間帯別火災発生状況	35
出火原因別火災件数	36
月・四半期別火災発生状況	37
過去5年間の火災発生状況	38

警 防 編

消防機材一覧表	39
消防水利施設	40
車両の保有状況、車両の配置状況	41

通 信 編

通信施設一覧表	43
回選別災害等通報件数	43
消防本部・各消防署通信系統図	44
無線設備一覧	45
気象統計	47
風位・風速調べ	47

救急・救助編

救急出動件数	48
救急搬送人員	49
各署所別・事故種別救急活動状況	50
過去5年間救急出動件数	51
過去5年間救急搬送人員数	52
消防防災ヘリコプター連携活動	53
消防防災ヘリコプター連携活動による救助、搬送人員	53
栃木県ドクターヘリ搬送状況	53
日光市応急手当講習会実施状況	54
救助出場・活動件数	55
過去5年間救助出動件数・救助人員数	59
日光宇都宮道路出動件数	59

消防団編

日光市消防団組織図	60
日光市分団管轄区域	61
年齢別団員数・勤続年数別団員数・団員報酬等	
消防団協力事業所表示制度交付状況・消防団サポート事業実施状況	62
消防団員配置状況	63
市民と団の消防力	64
車両の保有状況、車両の配置状況	65
消防団施設の状況	68

市章及び地理的条件

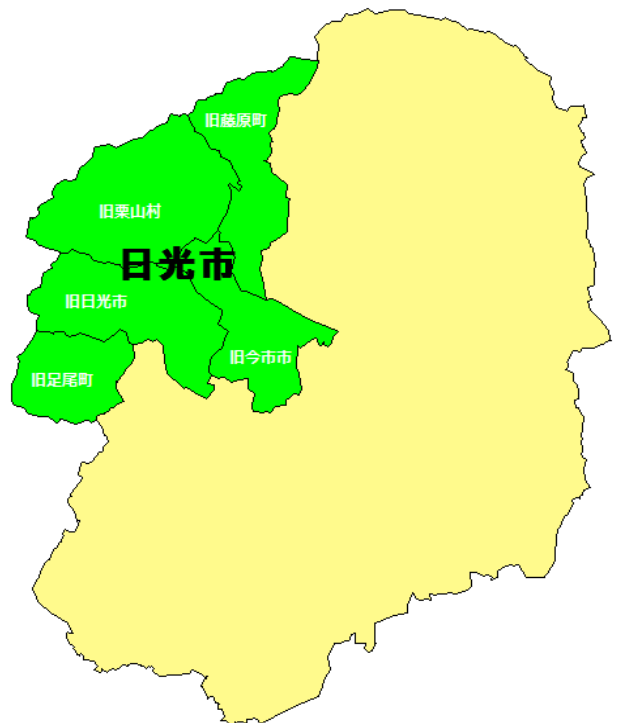


日光市の“N”を円形に配し5市町村をイメージ、日光が輝く様で「ひかりの郷」を描きました。花の様で「四季」、動きで「風」を表しました。合併により新市の躍進と発展を願いました。

日光市は、栃木県の北西部に位置し、北は福島県、西は群馬県に接しています。日光火山群と鬼怒川上流域、大谷川流域等に広がる区域に総面積は、1,449.83km²で、県土の約4分の1を占めています。日光国立公園地域を中心とする山間部の多くは、水源かん養や自然環境の保全等の機能を担う振興山村地域にも指定されています。

また、地形は標高300m程度の平坦地域（市街地）から2,000mを超す山岳地域まで大きな起伏があり、四季を通じて変化に富んだ観光・スポーツ・レクリエーションを可能にしており、国内外から多くの観光客が訪れています。

気候は、内陸性気候に属し、年平均気温は市街地で12度程度、山間部では7度程度あり、夏季は比較的涼しく、冬季は氷点下になることも多く、四季折々の寒暖の差が美しい自然景観を醸しだしています。



消防本部・署・分署庁舎状況

署所名	所在地	構造	建築年月	延面積 (㎡)
消防本部 今市消防署	日光市 豊田442番地1	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階、地上3階建	H15.6	4,827.53
今市消防署大沢分署	日光市 木和田島1562番地2	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 一部2階建	H9.4	612.99

消防本部 / 今市消防署



大沢分署



署 所 名	所 在 地	構 造	建 築 年 月	延 面 積 (㎡)
日光消防署	日光市 石屋町408番地1	鉄骨造 3階建	H26.3	2,086.35
日光消防署足尾分署	日光市 足尾町通洞8番1号	鉄骨造 2階建	H25.8	463.91
日光消防署中宮祠分署	日光市 中宮祠2478番地	鉄筋コンクリート造 一部2階建	S57.4	255.188

日光消防署



足尾分署



中宮祠分署



署 所 名	所 在 地	構 造	建 築 年 月	延 面 積 (㎡)
藤原消防署	日光市 鬼怒川温泉大原1419番地2	鉄骨造 2階建	H28.3	1,699.5
藤原消防署川治分署	日光市 藤原1238番地	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 平屋建	H2.12	339.9
藤原消防署湯西川分署	日光市 湯西川1167番地1	鉄筋コンクリート造 平屋建	H21.3	376.4

藤原消防署



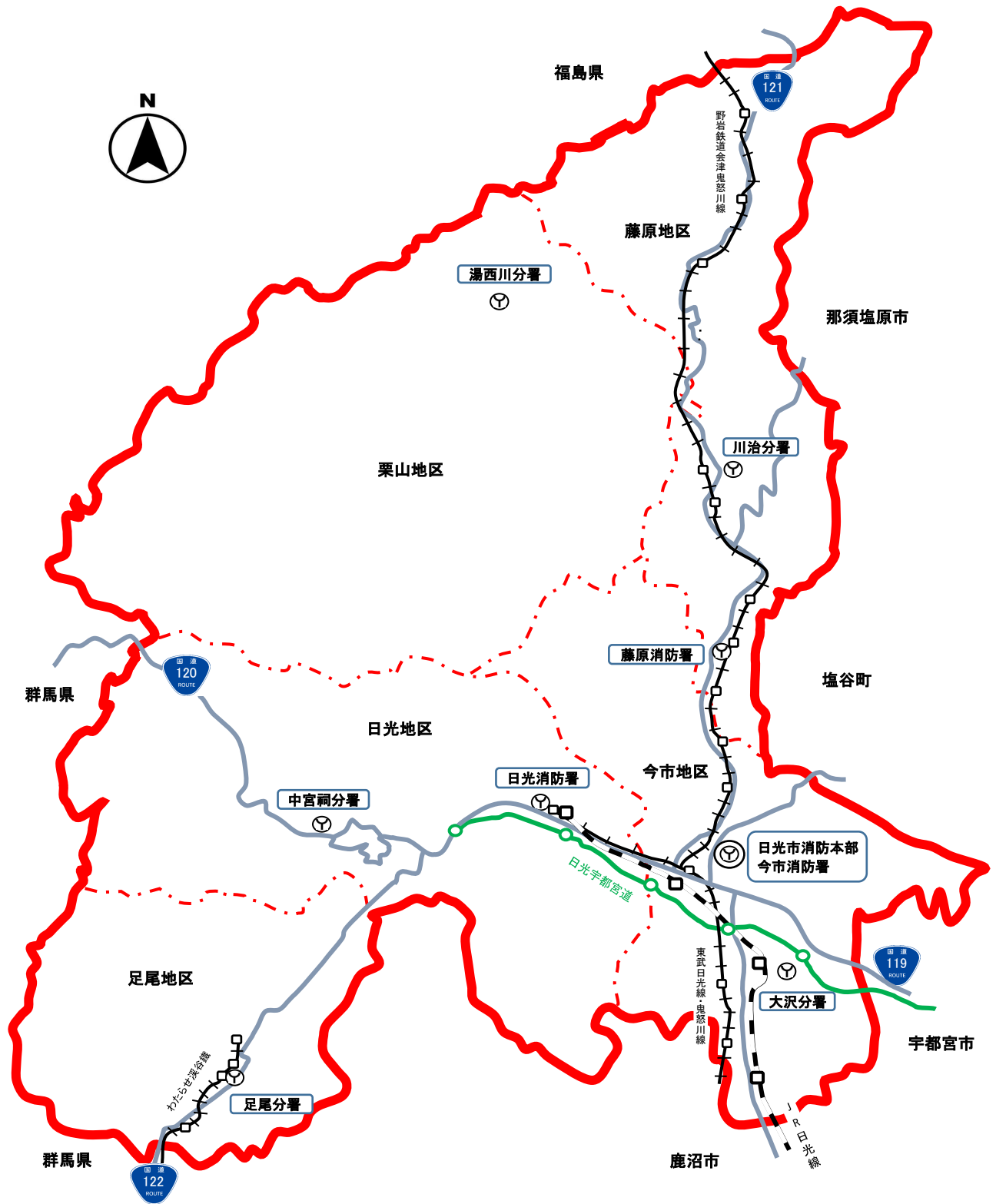
川治分署



湯西川分署



管内消防機関位置図



事 務 分 掌

(消防本部の事務分掌)

総 務 課

庶 務 係	<ol style="list-style-type: none">1 人事及び組織の企画並びに調整に関する事。2 消防本部の規定等の制定及び改廃並びに例規の整理保管に関する事。3 予算の立案、経理及び決算に関する事。4 職員の任免、服務、研修、福利厚生、衛生管理、安全管理、表彰及び公務災害に関する事。5 公印（消防長及び連合会長）の管理に関する事。6 消防統計及び広報に関する事。7 消防職員委員会に関する事。8 文書の收受、発送、整理及び保存に関する事。9 消防相互応援協定に関する事。10 消防団連合会に関する事。11 消防車両等の事故報告に関する事。12 その他の課及び係に属さないもの。
施設管理係	<ol style="list-style-type: none">1 財産の管理に関する事。2 消防施設等の企画、整備及び維持管理に関する事。3 消防水利の企画、整備及び維持管理に関する事。4 起債及び補助事業に関する事。5 物品の取得、賃借及び修繕に関する事。

予 防 課

予 防 係	<ol style="list-style-type: none"> 1 建築確認同意事務（新築）に関すること。 2 統計調査照会事務に関すること。 3 防火管理者育成に関すること。 4 各種団体統括事務に関すること。 5 災害調査及び報告に関すること。 6 違反処理及び立入検査に関すること。 7 その他予防に関すること。
保 安 係	<ol style="list-style-type: none"> 1 危険物製造所等の許認可等に関すること。 2 危険物製造所等の届出等に関すること。 3 違反処理及び立入検査に関すること。 4 危険物施設の災害調査に関すること。 5 危険物取扱者試験、講習等に関すること。 6 各種団体事務に関すること。 7 液化石油ガス等の事務に関すること。 8 その他保安に関すること。

警 防 課

警 防 係	<ol style="list-style-type: none"> 1 警防業務の総合調整に関すること。 2 消防相互応援に関すること。 3 災害時の警防活動並びに災害現場の指揮及び支援に関すること。 4 地震対策及び水防対策に関すること。 5 消防訓練に関すること。 6 消防力の整備に関すること。 7 消防車両等の企画及び整備に関すること。 8 警防活動及び技術に関すること。 9 その他警防業務に関すること。
救 急 係	<ol style="list-style-type: none"> 1 救急業務の総合調整に関すること。 2 救急計画の作成及び統計情報に関すること。 3 救急技術の指導及び資器材の研究に関すること。 4 救急医療機関との連絡及び調整に関すること。 5 その他救急業務に関すること。

通信指令課

指令第1係	1 火災警報及び災害通信に関すること。
指令第2係	2 通信の管制及び指令に関すること。
指令第3係	3 災害速報及び気象情報の提供に関すること。
	4 消防無線に関すること。
	5 消防通信施設の維持管理に関すること。
	6 その他通信業務及び無線業務に関すること。

(消防署の事務分掌)

消 防 署

庶務係	<ol style="list-style-type: none"> 1 予算立案、経理及び決算に関すること。 2 職員の服務、研修、福利厚生、衛生管理、安全管理、表彰及び公務災害に関すること。 3 公印（署長及び団長）の管理に関すること。 4 消防統計及び広報に関すること。 5 文書の收受、発送、整理及び保存に関すること。 6 物品の取得、賃借及び修繕に関すること。 7 消防団員（以下「団員」という）の任免、報酬、服務、分限、懲戒その他人事一般に関すること。 8 団員の研修、福利厚生、衛生管理、安全管理、表彰及び公務災害に関すること。 9 消防団の連絡調整に関すること。 10 消防団の施設の維持管理に関すること。 11 消防水利の企画、整備及び維持管理に関すること。 12 消防署の維持管理に関すること。 13 その他の係に属さないもの。
-----	---

<p>予 防 係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 建築確認同意事務（新築以外）に関すること。 2 日光市火災予防条例（平成18年日光市条例第279号）に基づく事務処理に関すること。 3 防火指導に関すること。 4 災害調査に関すること。 5 違反処理及び立入検査に関すること。 6 消防活動阻害物質の取り扱いに関すること。 7 住宅防火に関すること。 8 消防用設備等の事務に関すること。 9 定期点検及び自主点検に関すること。 10 苦情処理に関すること。 11 リ災証明に関すること。 12 修学旅行宿泊照会に関すること。 13 文書管理に関すること。 14 その他予防に関すること。
<p>警防第1係 警防第2係 警防第3係</p>	<p>【警防】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 災害の警防活動に関すること。 2 消防警戒に関すること。 3 消防隊編成に関すること。 4 消防水利の維持管理に関すること。 5 消防訓練に関すること。 6 警防計画に関すること。 7 警防査察に関すること。 8 消防活動及び訓練時の安全管理に関すること。 9 災害統計に関すること。 10 警防活動に関する個人装備の整備に関すること。 11 災害速報及び気象情報の提供に関すること。 12 その他警防に関すること。 <p>【装備】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 消防機械器具の配置、購入、整備及び修繕に関すること。 2 消防車両の購入、整備及び修繕に関すること。 3 消防車両の継続検査、定期検査及び整備に関すること。 4 機関員の指導に関すること。 5 消防車両の保険事務及び事故処理業務に関すること。 6 その他機械装備に関すること。

警防第1係	【救急】 1 救急業務に関する事。
警防第2係	2 救急隊の編成に関する事。
警防第3係	3 救急統計及び救急情報に関する事。 4 救急資器材の保守管理に関する事。 5 その他救急に関する事。
	【救助】
	1 救助業務に関する事。
	2 救助訓練及び教育並びに指導に関する事。
	3 救助統計及び救助情報に関する事。
	4 救助資器材の維持管理に関する事。
	5 救助工作車及びはしご車等の維持管理に関する事。
	6 その他救助業務に関する事。

分 署

警防第1係	1 災害の警防活動に関する事。
警防第2係	2 救急業務に関する事
警防第3係	3 消防水利の維持管理に関する事。
	4 消防車両及び消防機械器具の維持管理に関する事。
	5 災害情報の収集及び調査に関する事。
	6 苦情処理に関する事。
	7 各種団体事務に関する事。
	8 危険物取扱者試験、講習等に関する事。
	9 消防対象物調査及び立入検査並びに防火指導に関する事。
	10 日光市火災予防条例に基づく事務処理に関する事。
	11 防火指導に関する事。
	12 違反処理及び立入検査に関する事。
	13 消防活動阻害物質の取り扱いに関する事。
	14 住宅防火に関する事。
	15 消防用設備等の事務に関する事。
	16 定期点検及び自主点検に関する事。
	17 その他予防に関する事。
	18 その他分署事務に関する事。

日光市消防本部のあゆみ

平成18年	3月 20日	新「日光市」誕生 (今市市・日光市・藤原町・足尾町・栗山村が合併) 新「日光市消防本部」誕生 (今市市消防本部・日光地区消防組合消防本部・藤原町消防本部が統合) 初代消防長に岡部恵三氏 就任 条例定数192名、実員190名となる。 日光市消防団連合会 発足 (今市・日光・藤原・足尾・栗山消防団) 初代連合会長に今市消防団長 北山利男氏 就任
	3月 31日	職員2名退職、実員188名となる。
	8月 1日	職員2名市長部局より異動、実員190名となる。
	8月 25日	職員1名退職、実員189名となる。
	12月 31日	職員1名退職、実員188名となる。
平成19年	3月 27日	栗山消防団第2分団第2部(黒部)及び第3分団第2部(川俣温泉)に小型動力ポンプ付積載車を配備する。
	3月 31日	職員5名退職、実員183名となる。
	4月 1日	職員5名採用、職員2名市長部局より異動、職員1名市長部局へ異動、実員189名となる。 二代消防長に北山一彦氏 就任
	5月 31日	日光消防団第6分団(和泉)に詰所を新設する。
	6月 15日	藤原消防団第6分団第1部(川治)に詰所を新設する。
	8月 27日	今市消防署はしご車を購入。
	9月 30日	職員1名退職、実員188名となる。
	10月 16日	日光消防団第5分団(湯元)及び第6分団(野口)、足尾消防団第2分団第1部(掛水)に消防ポンプ自動車を配備する。 藤原消防団第5分団第2部(仲町)、第7分団第4部(横川)に小型動力ポンプ付積載車を配備する。
	11月 16日	日光消防署足尾分署タンク車を購入。
	12月 10日	今市消防署タンク1号車を更新する。
平成20年	1月 15日	栗山消防団第3分団第2部(川俣)に詰所を新設する。
	1月 25日	今市消防署救急1号車を更新する。
	2月 12日	藤原消防団第6分団第4部(鶏頂)に詰所を新設する。
	2月 27日	日本消防協会から藤原消防団広報車1台寄贈される。
	3月 21日	今市消防団第1分団第7部(平ヶ崎)に詰所を新設する。
	3月 31日	職員9名退職、実員179名となる。

平成20年	4月 1日	職員7名採用、職員1名市長部局へ異動、実員185名となる。 三代消防長に高槻精一氏 就任 二代日光市消防団連合会長に日光消防団長 篠田英夫氏 就任
	10月 21日	今市消防団第2分団第4部（明神）及び第3分団第4部（栗原）、 日光消防団第3分団（相生町）、藤原消防団第6分団第3部（小網）、 足尾消防団第1分団第2部（上間藤）、栗山消防団第1分団第1部 （日向野尻）に消防ポンプ自動車を配備する。 日光消防団第7分団（山久保）、藤原消防団第4分団第2部（城の内） に小型動力ポンプ付積載車を配備する。
	10月 31日	今市消防署ポンプ3号車を更新する。
平成21年	2月 9日	今市消防署化学車を購入。
	2月 19日	藤原消防署湯西川分署救急車を更新する。
	3月 25日	藤原消防署湯西川分署新築移転 業務開始
	3月 31日	職員6名退職、実員179名となる。
	4月 1日	職員8名採用、職員1名市長部局より異動、職員1名市長部局へ異動、 実員187名となる。 四代消防長に塚原實氏 就任
	10月 20日	今市消防団第1分団第5部（材木町）及び第5分団第5部（沓掛）、 日光消防団第2分団（本町）に消防ポンプ自動車を配備する。 日光消防団第10分団（西小来川）、藤原消防団第6分団第4部（鶏頂） 及び第7分団第3部（上三依）、足尾消防団第3分団第2部（中才）、 栗山消防団第2分団第3部（土呂部）及び第2分団第4部（上栗山）に 小型動力ポンプ付積載車を配備する。
	11月 16日	藤原消防署川治分署救急車を更新する。
	12月 20日	職員1名退職、実員186名となる。
平成22年	1月 27日	今市消防署大沢分署救急車を更新する。
	2月 25日	今市消防署大沢分署作業車を更新する。
	2月 26日	日光消防団第9分団（所野）及び第10分団（中小来川）に詰所を新設 する。
	3月 31日	職員5名退職、実員181名となる。
	4月 1日	職員8名採用、実員189名となる。
	7月 19日	職員1名退職、実員188名となる。
	10月 7日	藤原消防署救急2号車を更新する。
	10月 25日	日光消防署清滝分遣所タンク車を更新する。 今市消防団第3分団第2部（轟）及び第5分団第1部（小林1・2区）、 日光消防団第4分団（清滝）、藤原消防団第5分団第1部（仲町1区）に 消防ポンプ自動車を配備する。

平成22年	10月 25日	藤原消防団第3分団第2部（合沢）、栗山消防団第3分団第3部（野門）及び第4分団第2部（湯西川上）に小型動力ポンプ付積載車を配備する。日光消防団第10分団（滝ヶ原）に小型動力ポンプ付積載車（軽自動車）を配備する。
	11月 19日	日光消防署救急2号車を更新する。
平成23年	2月 25日	日本消防協会から日光消防団広報車1台寄贈される。
	3月 31日	職員8名退職、実員180名となる。
	4月 1日	職員8名採用、実員188名となる。 五代消防長に山口久氏 就任
	10月 17日	日光消防署足尾分署広報連絡車を更新する。
	11月 14日	今市消防署救急2号車を更新する。
	12月 12日	足尾消防団第1分団第2部（上間藤）に詰所を新設する。
平成24年	2月 22日	今市消防署、藤原消防署 資機材搬送車を更新する。
	3月 5日	今市消防署予防1号車を更新する。
	3月 7日	藤原消防署救急1号車を更新する。
	3月 8日	藤原消防署タンク車を更新する。
	3月 10日	日光消防署人員搬送車を更新する。
	3月 17日	今市消防団第2分団第6部（手岡）及び第3分団第3部（小百）、藤原消防団第1分団第1部（藤原）及び栗山消防団第3分団第3部（川俣）に消防ポンプ自動車を配備する。 藤原消防団第5分団第3部（上滝）、栗山消防団第4分団第3部（川戸）、日光消防団第5分団（菖蒲ヶ浜）に小型動力ポンプ付積載車を配備する。
	3月 31日	職員3名退職、実員185名となる。
	4月 1日	職員5名採用、実員190名となる。 三代日光市消防団連合会長に今市消防団長 我妻一義氏 就任
	10月 29日	今市消防団第4分団第7部（山口）及び第5分団第2部（小林3区）、藤原消防団第2分団第3部（自由ヶ丘）及び第6分団第1部（高原）、日光消防団第10分団（中小来川）に消防ポンプ自動車を配備する。栗山消防団第1分団第2部（日向戸中）及び第3分団第4部（若間）、日光消防団第6分団（和泉）に小型動力ポンプ付積載車を配備する。
	11月 15日	今市消防署大沢分署広報車を更新する。
	11月 21日	日光消防署ポンプ1号車を更新する。 日光消防署ポンプ2号車を廃車する。 日光消防署中宮祠分署タンク車を更新する。
平成25年	2月 28日	今市消防署救助工作車を更新する。
	3月 13日	今市消防署人員搬送車を更新する。
	3月 31日	職員3名退職、実員187名となる。

平成25年	4月 1日	職員7名採用、市長部局より職員2名異動、市長部局へ職員3名異動、実員193名となる。
	6月 14日	藤原消防署人員搬送車を更新する。 藤原消防署川治分署資機材搬送車を更新する。
	8月 5日	日光消防署足尾分署新築移転 業務開始
	10月 23日	日光消防団第10分団（東小来川）、藤原消防団第5分団第4部（温泉駅前）、足尾消防団第1分団第1部（赤倉）に小型動力ポンプ付積載車を配備する。
	10月 24日	日光消防署救助工作車を更新する。
平成26年	1月 14日	日光消防署指揮車を更新する。
	1月 23日	今市消防署及び藤原消防署ポンプ車を更新する。 日光消防署中宮祠分署資機材搬送車を更新する。
	2月 4日	今市消防団第2分団第5部（板橋）及び第5分団第4部（矢野口）、日光消防団第1分団（下鉢石）に消防ポンプ車を配備する。
	2月 7日	今市消防署大沢分署タンク車を更新する。
	2月 26日	日光消防署中宮祠分署救急車を更新する。
	3月 20日	総務省消防庁から今市消防団小型動力ポンプ付軽自動車1台無償貸与される。
	3月 28日	日光消防署新築移転 業務開始
	3月 31日	職員8名退職、実員185名となる。
	4月 1日	職員6名採用、市長部局より職員1名異動、職員1名市長部局へ異動、実員191名となる。 六代消防長に福田浩二氏 就任 四代日光市消防団連合会長に藤原消防団長 鶴見好道氏 就任 今市消防団第4分団第6部・第7部・第10部を統合。今市消防団第4分団第6部となる。 藤原消防団第6分団第1部・第2部を統合。藤原消防団第6分団第1部となる。
	9月 25日	今市消防署広報車を更新する。
	11月 7日	藤原消防団第7分団第3部（上三依）に詰所を新設する。
	11月 19日	今市消防団第2分団第3部（小代）及び第4分団第2部（木和田島）、藤原消防団第2分団第1部（大原）に消防ポンプ自動車を配備する。
	11月 21日	藤原消防団第7分団第1部（中三依）に小型動力ポンプ付積載車を配備する。 日光消防署足尾分署資機材搬送車を更新する。
	12月 6日	藤原消防署救助工作車を更新する。
	12月 25日	藤原消防署湯西川分署タンク車を更新する。

平成26年	12月 31日	職員1名退職、実員190名となる。
平成27年	1月 9日	日光消防署足尾分署救急車を更新する。 日光消防団第4分団（清滝）に詰所を新設する。
	3月 31日	職員12名退職、実員178名となる。
	4月 1日	職員8名採用、市長部局より職員3名異動、市長部局へ1名異動。 再任用職員3名採用。実員191名となる。 今市消防団第4分団第4部・第5部を統合。今市消防団第4分団第4部となる。 今市消防団第4分団第8部を今市消防団第4分団第5部に、今市消防団第4分団第9部を今市消防団第4分団第7部に名称変更する。
	11月 6日	今市消防団第1分団第1部（春日町）、藤原消防団第5分団第2部（仲町2区）に消防ポンプ自動車を配備する。
平成28年	1月 13日	日光消防署救急1号車を更新する。
	1月 14日	今市消防団第4分団第6部（根室）に詰所を新設する。
	3月 3日	日光消防団第10分団（西小来川）に詰所を新設する。
	3月 15日	藤原消防署新築移転 業務開始 高機能消防指令センター 運用開始
	3月 31日	職員5名退職、再任用職員3名退職、実員183名となる。
	4月 1日	職員6名採用、市長部局より職員1名異動、市長部局へ2名異動。 実員188名となる。 七代消防長に富久田民一氏 就任 五代日光市消防団連合会長に今市消防団長 沼尾幸一氏 就任 消防救急デジタル無線運用開始 藤原消防団第5分団第1部・第3部を統合。藤原消防団第5分団第1部となる。
	12月 16日	今市消防署救急1号車を更新する。
	12月 20日	今市消防団第1分団第7部（平ヶ崎）、栗山消防団第2分団第1部（上栗山）に消防ポンプ自動車を配備する。
平成29年	3月 21日	足尾消防団第2分団（野路又）に詰所を新設する。
	3月 31日	職員10名退職、実員178名となる。
	4月 1日	職員10名採用、実員188名となる。 足尾消防団第2分団第1部・第2部を統合。足尾消防団第2分団となる。
	11月 7日	今市消防団第4分団第3部（八日市）に小型動力ポンプ付積載車を配備する。 日光消防団第2分団（花石町）に小型動力ポンプ付積載車（軽自動車）を配備する。
	11月 7日	日光消防団第5分団（中宮祠）に消防ポンプ自動車を配備する。

平成29年	12月 15日	今市消防団第5分団第1部（小林1区）に詰所を新設する。
	12月 21日	今市消防署大沢分署救急車を更新する。
	12月 27日	日光消防署タンク車を更新する。
平成30年	3月 31日	職員3名退職、実員185名となる。
	4月 1日	職員4名採用、実員189名となる。 八代消防長に佐藤昇氏 就任 六代日光市消防団連合会長に栗山消防団長 小栗功氏 就任 足尾消防団第1分団第2部・第3部を統合。足尾消防団第1分団第2部となる。
	7月 27日	日光消防署広報自動車を更新する。
	11月 13日	今市消防団第1分団第3部（小倉町）、藤原消防団第3分団第1部（高德）、栗山消防団第4分団第7部（湯西川中）に消防ポンプ自動車を配備する。
平成31年	3月 25日	今市消防署化学機能付大型水槽消防ポンプ自動車を更新する。
	3月 31日	職員5名退職、実員184名となる。
	4月 1日	職員6名採用、市長部局より職員1名異動。再任用職員1名採用。 実員192名となる。 九代消防長に斎藤信義氏 就任 藤原消防団第3分団第1部・第2部を統合。藤原消防団第3分団となる。
令和元年	6月 1日	藤原消防団第7分団第1部・第2部を統合。藤原消防団第7分団第1部となる。 藤原消防団第7分団第3部・第4部を統合。藤原消防団第7分団第2部となる。
	11月 6日	日光消防団第5分団（湯元）に詰所を新設する。
令和2年	3月 17日	今市消防団第2分団第1部（文挾町）、藤原消防団第4分団第1部（小佐越）に消防ポンプ自動車を配備する。
	3月 31日	職員3名退職、実員189名となる。
	4月 1日	職員4名採用、再任用職員1名採用。実員194名となる。 十代消防長に赤松孝之氏 就任 七代日光市消防団連合会長に藤原消防団長 柏木栄氏 就任
	9月 1日	今市消防団第5分団第2部・第5部を統合。今市消防団第5分団第2部となる。 今市消防団第5分団第3部・第4部・第6部を統合。今市消防団第3部となる。
	9月 30日	職員1名退職、実員193名となる。
	12月 31日	職員1名退職、実員192名となる。
令和3年	2月 13日	今市消防団第1分団第2部（住吉町）に消防ポンプ自動車を配備する。

令和3年	2月13日	今市消防署救急2号車を更新する。
	3月31日	職員6名退職、実員186名となる。
	4月1日	職員4名採用、市長部局より職員1名異動、再任用職員1名採用。 実員192名となる。 藤原消防団第1分団第1部・第2部を統合。藤原消防団第1分団となる。 栗山消防団第3分団第1部・第2部を統合。栗山消防団第3分団第1部となり、第3部を第2部、第4部を第3部に変更する。
	10月1日	栗山消防団第3分団第2部・第3部を統合。栗山消防団第3分団第2部となる。
	12月27日	日光消防団第10分団（東小来川）に詰所を新設する。
令和4年	2月15日	藤原消防署救急2号車を更新する。
	3月2日	栗山消防団第1分団第3部（日向大王）に小型動力ポンプ付積載車を配備する。
	3月31日	職員14名退職、実員178名となる。
	4月1日	職員5名採用、再任用5名採用。 実員188名となる。 十一代消防長に川村多喜男氏 就任 清滝分遣所を日光消防署へ集約。 八代日光市消防団連合会長に栗山消防団長 渡辺信夫氏 就任 足尾消防団を日光消防団へ編入。日光消防団第11分団となる。 日光消防団の組織について、分団制から部制に変更する。
	5月31日	職員1名退職、実員187名となる。
	8月1日	日光消防団第10分団第2部・第4部を統合。日光消防団第10分団第2部となる。
	10月6日	今市消防署広報自動車を更新する。
	11月21日	藤原消防団第1分団（藤原）に詰所を新設する。
令和5年	2月7日	日光消防署救急2号車を更新する。
	2月28日	職員1名退職、実員186名となる。
	3月31日	職員2名退職、実員184名となる。
	4月1日	職員6名採用、実員190名となる。

